



# 印日 特別戦略的グローバル・パートナーシップ 10周年



全インド戦争記念碑として建設されたインド門(デリー)

## 世界の成長センター



日系企業が集積するグルガオンのオフィス街「サイバーシティ」に隣接するショッピングセンター

1947年8月15日に英国から独立したことを祝う「インド共和国独立記念日」が78回を迎える。今年は、モディ首相と安倍晋三元首相が2014年9月、両国関係を「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」として10年の節目でもある。豊富な生産年齢人口

や都市化の進展などを背景に多くの投資を引き寄せるインド。世界の成長センターとしてのポジションが一層、鮮明になるなか、持続可能な未来に向けて日印ビジネスの一層の深耕が注目される。

### Ambassador's Special Message

駐日インド大使 シビ・ジョージ

## 相互尊重と共通の価値観

第78回インド共和国独立記念日を慶祝するにあたり、日本の天皇后両陛下、日本政府、日本国民の皆さま、在日インド人、日本のインドの友人の皆さまに心からごあいさつ申し上げます。

### 驚異的な成長

独立以降、インドは活発な民主主義、経済、科学進歩、そして世界各国に支えられ、驚異的な成長を続けてきました。今年6月には9億人の有権者が参加する史上最大の民主選挙が行われ、代議政治への決意を新たにしました。

インド経済は、ビジネス・スタートアップ環境の整備、対印投資の誘致を通じ、急成長を遂げてきました。「メイク・イン・インド政策」で製造業を強化し、ITやデジタルといったサービス産業では世界をけん引しています。世界初の月極地着陸を成功させ、国産コロナワクチンの開発に成功するなど、インドは確固たる科学力を確立しました。再生可能エネルギーや電気自動車の普及を促進し、持続可能な発展と気候変動問題に真摯(しんしん)に取り組んでいます。生体認証システム「アダーール」と統一決済インターフェースは、遠隔地での公的サービスの提供を可能にし、国内の金融包摂を劇的に進め、さまざまな社会指標を改善しました。

インドは2023年にG20サミット議長国を務めるなど、世界的な責任力・発展力を備えた国に成長しています。G20の成果文書には、包摂的な成長、持続可能な発展、多国間協力への決意を盛り込みました。また任期中、グローバルサウスの国々の優先課題を重要議題として取り上げました。

共通の価値観と相互尊重に基づき構築された印日特別戦略的グローバル・パートナーシップは10周年という節目の年を迎え、モディ首相と岸田首相との首脳会談など多層的な交流を通じさらなる関係強化が図られています。経済関係も貿易総額が220億ドルを超過し、進化しています。日本からの対印投資も27年までに5兆円目標を達成すると見込まれ、インドの経済成長、雇用創出に大いに貢献しています。

科学技術分野での連携も進み、人工知能(AI)や量子計算、半導体、バイオ技術の分野で革新的なイノベーションが生まれる素地が整っています。印日デジタルパートナーシップは、新興技術やサイバーセキュリティ、デジタルインフラなどの分野で、月極地探査ミッション(LUPEX)は宇宙部門での、両国の協力可能性を拡大しています。

### ヒマラヤと富士山つなぐ

両国の若者の絆を育む教育・人材育成交流は、両国関係の基盤です。24年の印日観光促進年2.0「ヒマラヤと富士山をつなぐ」は、これまで培われた交流の成果を引き継ぐものです。インドの「インド太平洋イニシアチブ」と日本の「自由で開かれたインド太平洋」というビジョンの相乗効果や、クアッドでの協力に見られるように、インドと日本のビジョンは国際的に著しい収斂(しゅうれん)を見せています。

### 世界のパートナー

インドは独立100周年までの期間、「アム



リットカール」での歩みを着実に進めています。強力な経済成長、将来性を示す人口ボーナス、持続可能な発展への決意、気候変動や平和維持活動への取り組みなど、責任ある世界のパートナーとしてのインドの可能性は今後も拡大することでしょう。

国際議場では世界の声に公平に耳を傾け、21世紀の現状を反映する国際機関改革に取り組むよう働きかけています。

共通の価値観と相互尊重に根差した永続的な関係を享受しているインドと日本が相互に補完し協力を強化すれば、より平和で栄えた持続可能な世界を構築できるでしょう。

インド独立記念日を慶祝するとともに、日本との特別で大切な絆に思いを寄せ、日本の皆さま、日本政府の揺るぎない友情に感謝申し上げます。今後も印日関係は発展・緊密化を続け、インド太平洋地域の平和、安定そして繁栄、より良い世界の構築に貢献することでしょう。

### 進出企業の戦略

順不同

#### 大阪ウェルディング工業

大阪ウェルディング工業(大阪府茨木市)は2016年にインドのタミル・ナドゥ州コインパトールに進出し、年々事業を拡大している。産業機械部品や部材を長寿命化する溶射加工と精密機械加工を手がけており、現地で部品の

付加価値を高める加工需要拡大に対応する。特にアルミダイカストマシン向け部品などが好調で営業を強化している。また工場でも社員を増員し、新たな設備投資も必要になると想定している。インドの慣習は独特だが、丁寧に付加価値を説明して業容を広げていく考えだ。

#### オー・ジー

化学品専門商社のオー・ジーは、インド現地法人のOG CORPORATION INDIAを通じ、モノづくり・トレーディングの機能を活用し、現地に根差した事業を展開する。関連会社のMELOG SPECIALITY CHEMICALSなど多

数の製造パートナーと協働し、品質レベルの高い機能化学製品を供給する。さらに関連会社のARVIND OG NONWOVENSのニードルパンチ不織布はバグフィルター用途としてインド内外へ販売量を増加させている。2024年5月にデリーにも拠点を開設。インド産業のさらなる発展に対応し強固な体制を整えていく。

#### KONOIKEグループ

鴻池運輸を中核とするKONOIKEグループは、世界的に高成長が見込まれるインド事業を強化している。2008年の拠点開設以降、国際フォワーディング、プラント移設などのエンジニアリングに加え、鉄道コンテナ輸送や自動車の鉄道輸送、医療関連サー

ビスを展開している。特にインド医療業界の課題解決に向けて、医療材料や病院、医師のデータベース化事業などを積極化している。日本・インド両政府や医療関連機関と構築した良好な関係をベースに、日系企業のインドでの医療市場進出サポートも手がけている。

## グリーン供給網力ギ握る

### インド自動車ビジネス進出セミナー

インド自動車部品工業会(ACMA)は6日、「インド自動車ビジネス進出セミナー インド市場の展望と未来予測」を都内で開いた。自動車専門調査会社のFOURIN(名古屋千種区)の久保鉄男社長は、インドでは2030年に700万台以上の市場が見込まれていることなどを解説。生産面においても「電動車を製造するグリーンサプライチェーンの世界での誘致合戦の中で、インドは材料やサプライヤー含め可能性が高い」と分析。また次世代のソフトウェア定義車両

(SDV)開発において、インドの開発力が高まっていることなどを説明した。またS&Pグローバルモビリティの川野義昭フォーキャストアソシエイトダイレクターが各主要地域別の販売シェアトレンドなどを解説した。

ACMAからは、25年1月にインド商工省主催によりデリーで行われる2回目のモビリティショー「パーラトモビリティ2025」について紹介し、日本企業への積極的な出展を呼びかけた。

## KONOIKE 2030 VISION

### 技術で、人が、高みを目指す

先端テクノロジーを使いこなす次世代のKONOIKEスピリットで、お客さまと社会の課題解決を図る「現場のあり方」を進化させていきます。

鴻池運輸株式会社 Konoike Transport Co., Ltd.

大阪本社 〓 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-3-9 TEL.06-6227-4600(代表) 代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦  
東京本社 〓 〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 TEL.03-3575-5751(代表) グループ国内拠点数: 183 / 海外拠点数: 37

KONOIKEグループ Webサイト インド事業紹介

## 現場思考型 開発企業

産業機械の寿命延伸 耐摩耗・耐食・耐熱・部品受注生産

問い合わせ TEL.0748-62-3771~2 E-mail: sakakibara@osakawel.co.jp

溶射チップ SKD/窒化チップ 各種取扱

プラスチック ペレタイザー用 ホットカッター刃 各種工業用切断刃物

寿命は焼入品の3~10倍(特許製法)

創業62年 年間実績 6,000種以上

(品質 日本水準) コスト・数量に応じ インド、中国、日本工場で製作!!

2024 健康経営優良法人 地域未来牽引企業 Health and productivity

〓 大阪ウェルディング工業株式会社 本社 〒567-0001 大阪府茨木市安威2-20-11 関東工場 〒332-0003 埼玉県川口市東郷5-6-6 滋賀工場 〒528-0052 滋賀県甲賀市水口町川11426-10(宇川工業団地) TEL.0748-62-3771~2 FAX.0748-62-9417 〓 www.osakawel.co.jp

〓 東営田島金属表面加工有限公司 中国山東省東營市東營經濟開發區東七路東運河路南 TEL.001-010-86-546-7760607 FAX.001-010-86-546-7760608

〓 田島威爾登機械科技(江蘇)有限公司 獨資工場 Tiandao Weierdeng Machinery 中国江蘇省常熟市虞山高新技術產業園陽光大道55号 Changshu High Tech Industrial Park No.55 Yangshu Road, Changshu, Jiangsu, China.

(合併) レーマンテクノロジーインディア 代表取締役 マニガンダ

be Original. be Global.

## オー・ジー株式会社

人と化学の調和

未来への挑戦と創造

豊かさの追求

# Create for the future

詳しくはこちらをご覧ください

100TH ANNIVERSARY

これからの化学をベースに、豊かな暮らしと持続可能な社会の実現を目指してまいります。

近年では、衣類用透湿防水フィルムや抗菌・抗ウイルス剤の新規開発と性能評価能力の増強、ディスプレイ向け高精細貼合等の事業を行い、時代に即した社会のニーズにお応えすべく、誠実に取り組んでまいりました。

オー・ジー(株)は1923年に大阪合同(株)として発足以来、川上から川下まで幅広い化学品事業をグローバルに展開し続け、おかげさまで100周年を迎えました。